

【Basic II】

筆記試験 <理論> 例題集 ②

(60分)

I. 次の楽譜を見て、各問に答えなさい。

① Fmaj7 ② Dm7 ③ Gm7 Am7 D7

④ Gm7 Am7 Dm7 ⑤ C7 F6

1. ①～⑤のコード・ネームを書きなさい。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

2. A～Cの2音間の音程を答えなさい。

A _____ B _____ C _____

3. この曲を短3度下に移調したときのKeyと調号を書きなさい。

(Key: _____)

●コード判別と音程に関する問題です。Basic IIでは、ノン・ダイアトニック・コードを含む基本的な種類のコードについて、構成音からコード・ネームを判別できることが必要です

(正解) 1. ① A7 ② G7 ③ C7 ④ B^bm7 ⑤ Gm7 2. A. 減5度 B. 完全4度 C. 短7度

3. D (major)

II. 次のコード進行を例のように分析し、度数と機能を記入しなさい。

(例) Key : C major

C	F	Dm7	G7	C	
(I)	(IV)	(II m7)	(V7)	(I)	← 度数
(T)	(S)	(S)	(D)	(T)	← 機能

(1) Key : A major

Dmaj7	C#m7	F#m7	Bm7	E7	Amaj7	
()	()	()	()	()	()	~
()	()	()	()	()	()	

(2) Key : D major

Dmaj7	Bm7	Em7	A7	F#m7	Gmaj7	
()	()	()	()	()	()	~
()	()	()	()	()	()	

(3) Key : G minor

Am7(^b 5)	D7	Gm7	F7	E ^b maj7	Dm7	
()	()	()	()	()	()	~
()	()	()	()	()	()	

●ダイアトニック・コードの機能、度数に関する問題です。Basic IIでは、メジャー・キーおよびマイナー・キーのダイアトニック・コードを分析し、それぞれの機能と度数を導き出すことが求められます。

(正解) (1) Key : A major

Dmaj7	C#m7	F#m7	Bm7	E7	Amaj7	
(IVmaj7)	(III m7)	(VI m7)	(II m7)	(V7)	(I maj7)	~
(S)	(T)	(T)	(S)	(D)	(T)	

(2) Key : D major

Dmaj7	Bm7	Em7	A7	F#m7	Gmaj7	
(I maj7)	(VI m7)	(II m7)	(V7)	(III m7)	(IV maj7)	~
(T)	(T)	(S)	(D)	(T)	(S)	

(3) Key : G minor

Am7(^b 5)	D7	Gm7	F7	E ^b maj7	Dm7	
(II m7(^b 5))	(V7)	(I m7)	(^b VII7)	(^b VI maj7)	(V m7)	~
(Sm)	(D)	(T)	(Sm)	(T (or Sm))	(D)	

Ⅲ. 下記の () にあてはまるコード・ネームを入れ、ドミナント・モーションになるようにしなさい。
 ( はドミナント・モーションを表しています。)

 () 
 () 
  ()

Ⅳ. 下記の () をうめて、トゥー・ファイブを作りなさい。( はトゥー・ファイブを表しています。)

(1)

 () 
 () 

(2)

 () 
 () 

Ⅴ. 下記のコード進行の () 内に適切なセカンダリー・ドミナントのコード・ネームを記入しなさい。

(1) Key : E^b major

機能	T	Sec.D	T	Sec.D	S	D	
コード	E ^b maj7	()	Gm7	()	Fm7	B ^b 7	~

(2) Key : B^b major

機能	T	Sec.D	S	Sm	T	Sec.D	S	
コード	B ^b	()	E ^b maj7	E ^b m	Dm7	()	Cm7	~

●いずれもコード進行に関する問題です。特に重要な進行であるトゥー・ファイブおよびドミナント・モーションについて、元のコードおよび解決先のコードの両方向から正しく見つけ出すことが必要です。セカンダリー・ドミナントについても、解決先のコードへのドミナント・モーションから導き出すことができます。

(正解) Ⅲ. F#7, E7, Gmaj7 Ⅳ. (1) F#m7, Em7 (2) E^b7, D^b7 Ⅴ. (1) D7, C7 (2) B^b7, G7

VI. () 内に正しいモード名（開始音名も明記すること）を記入しなさい。

(1)

()

(2)

()

(3)

()

(4)

()

(5)

()

(6)

()

(7)

()

●チャーチ・モードについての問題です。これについては『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 3』第10章 III (33ページ〜) に詳しく書かれており、「アベイラブル・ノート・スケール」の基本となっているものです。メジャー・スケールの各音を開始音とする7種類の音階について、その名称と音程構成を把握しておきましょう。

- (正解) (1) D リディアン (2) C# フリジアン (3) F# エオリアン (4) B ドリアン
 (5) A イオニアン (6) E ミクソリディアン (7) G# ロクリアン

VII. 下記のメロディーに、左手のパートをつけなさい。

Bbmaj7 Bb6 Cm7 Dm7 G7

Cm7 F7 Dm7 Db7 Cm7 B7

- 基本的なアレンジの課題です。伴奏形のパターンとコードネームを用いてアレンジすることが求められます。アレンジの内容（ボーシングやリズムパターンの変化など）は自由ですが、必要なコードトーンを配置しているか、音域が適切か、等がポイントになります。

(解答例)

Bbmaj7 Bb6 Cm7 Dm7 G7

Cm7 F7 Dm7 Db7 Cm7 B7

Ⅷ. 次の文章の（ ）にあてはまる語句、数字、または記号を書き入れなさい。

- (1) ナチュラル・マイナー・スケールとハーモニック・マイナー・スケールでは、第6音は主音に対して()度の音程だが、メロディック・マイナー・スケール(上行)では、第6音は主音に対して()度の音程となる。
- (2) セカンダリー・ドミナントとは、その曲の調の()に解決するドミナント・セブンス・コードをいう。
- (3) V7が I のコードに解決せず、I の代理コードであるVI_m7などに進行することを()という。
- (4) ドミナント・モーションを続けて弾いていくと、1周して最初のコードに戻る。この循環のことを()と呼ぶ。

●楽典や、音楽理論に関する用語の問題です。Basic II では、『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 2』と『ピアノ・パフォーマンス 2』の範囲から出題されますので、これらに出てくる用語を覚え、よく理解しておきましょう。

- (正解) (1) 短6、長6 (2) ダイアトニック・コード (3) 偽終止 (or ディセプティブ・ケーデンス)
(4) 五度圏 (or サイクル・オブ・フィフス)